ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成19年 No.196 10月号

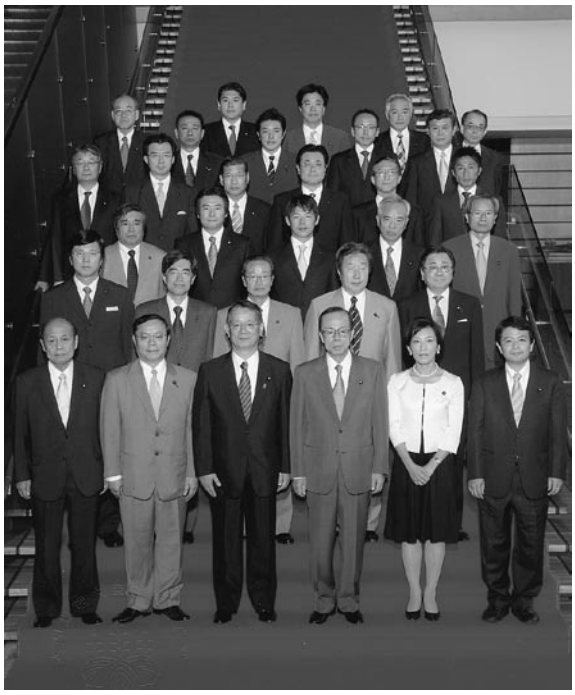
京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

二ノ湯参議院議員、政務官に再任
国民に安堵感、福田首相の政治姿勢

対話と協調の柔軟路線

総裁選後の24日に、福田氏は党役員人事に着手し、幹事長に伊吹文明、政務会長に谷垣禎一、総務会長に二階俊博の各氏を、そして近い将来の総選挙を視野に入れて、選挙対策委員長のポストを新設し、古賀誠氏を任命した。翌、9月25日、衆参両院で首班指名の選挙が行われた。衆議院では自民党総裁の福田康夫氏、参議院では民主党代表の小沢一郎氏が指名されたが、両院で議決が異なった場合、憲法の規定で衆議院の議決で指名された人が、内閣総理大臣になるため、自民党、公明党、無所属の支持を得た福田康夫氏が第九十一代の内閣総理大臣となった。早速組閣に取り掛かり、官房長官、外務大臣、文科大臣、防衛大臣に新しい人を登用、その他の閣僚は安倍内閣を引き継いだ。副大臣、大臣政務官は、総務副大臣を一名交代させただけで、全員が再任された。二ノ湯参議院議員も27日、首相官邸で、福田首相より総務大臣政務官の任命書を受け取った。安倍首相の突然の辞任表明で、国会は約2週間政治空白が続いた。内外共に課題は山積しており、背水の陣「福田内閣」の責任は大きい。二ノ湯大臣政務官も今後ますます忙しくなりそうである。



前列左端が二ノ湯政務官、首相官邸で記念撮影する政務官

恒心

★安倍首相の突然の辞任表明には驚いた。全く予想していなかっただけに、まさに晴天の霹靂(へきれき)であった。前日の夜9時ごろまで、首相の弟である参議院議員の岸信夫氏と一緒だった。弟も兄の思い詰めた気持ちを全く知らなかったのではないか。総裁選挙後、安倍氏は病院で記者会見をして、やめる理由は健康問題にあったことを明らかにした。初めからそういえば良かった。★安倍氏は、スマートで、毛並みが良く、選挙の顔として、ふさわしいと周囲の仲間に総裁に担ぎ上げられた。安倍さんの事を本当に心配する人は、まだまだ未経験で、若すぎるという意見を持っていた。本人ももっと経験を積んでからと思っていたに違いない。しかし、周囲の過剰なまでの期待の声に抵抗することが出来なかった。★首相に就任早々、中国、韓国を訪問、両国との関係改善に取り組み、しかも歴代の自民党内閣が実現できなかった諸問題も解決し、高い評価を得ていた。だが、どこに落とし穴があるか分からない。閣僚による不適切な政治資金支出、宙に浮いた年金記録問題が明らかになり、この問題の処理に振り回された。★その最中の参議院選挙。結果は自民党の歴史的敗北に終わった。それでも、安倍さんは政権継続の意思を明らかにし、臨時国会で所信表明もした。今国会は、日本にとって極めて重要な案件を処理しなければならない。その矢先での、前代未聞の辞任表明。安倍さんは再チャレンジという言葉をよく使ったが、多くの国民が釈然としない辞め方だっただけに、安倍さんの政治家としての再チャレンジは極めて難しいと思う。

自民党の新しい役員人事
伊吹幹事長、谷垣政調会長が誕生

福田自民党総裁は、就任早々、党役員の刷新を行い、幹事長に伊吹文明氏（京都第一選挙区）、政調会長に谷垣禎一氏（京都第五選挙区）を任命した。京都府出身の幹事長は森内閣時代の野中広務氏以来。参議院での与野党逆転の中で、国会運営は大変厳しい状況である。今国会の最大の政治課題はインド洋における海上自衛隊による各国艦船への給油活動の延長である。現在の「テロ対策特別措置法」に民主党の小沢代表があくまで反対しているので政府は新しい法律案を提出する方針。さらに高齢者医療費の凍結や障害者自立支援法の見直し、また批判の多い政治と金の透明性を高めるための政治資金規制法改正の処理もなかなか難しい。しかも、民主党は参議院先議で、多くの法案を提出してくる様子である。今後民主党との政策論争が激しくなることが予想される。それだけに政策に明るく、国民に説明責任を果たすことができ、しかも説得力ある政治家が是非とも必要である。その点では、伊吹、谷垣の両氏は党内切っての政策通であり、閣僚経験も長く、まさに適任者である。伊吹、谷垣の両氏が山積する諸問題をどのように裁くのか、二人の手腕に期待と注目が集まっている。

伊吹幹事長

谷垣政調会長

地方6団体トップと総務大臣との会合

全国知事会、全国市長会、全国町村会、都道府県議長会、市議会議長会、町村議長会の地方6団体の首脳と増田総務大臣との会合が10月4日に行われた。先ず、増田大臣から「地域活性化統合本部」を置き、政府として一体化で地方再生、活性化に取り組む覚悟であると述べた。そのために国庫補助負担金、税源の移譲、地方交付税を含めた税源配分の見直しを推進したいと表明、また地方税の充実のために法人二税（法人住民税、法人事業税）のあり方の検討、ふるさと納税制度の導入に取り組んでいきたいと語った。6団体側から、地方の課題について精通している大臣に大いに期待していると発言があり、次のような問題を提起した。◎今、地方は格差問題に直面して、経済は疲弊している。地方は田や畑を守り、災害を防ぎ、きれいな水や空気を都会に送っている。地方が果たしている役割を忘れないでほしい。◎本格的な地方分権が実現し、自己責任で町づくりができるように、財源の充実、権限の移譲を進めてほしい。◎福田首相は地方重視でやっていくと言われているので、かねてからの懸案である「国と地方の協議の場」を早く設定してほしい。◎政府主導によって進められた平成の大合併の功罪について検証するべきではないか。多くの自治体では、合併して地域の活力がなくなったという声が挙がっている。今後も合併を推進するならば住民が喜ぶような合併にしてほしい等々を訴えた。

挨拶をする増田総務大臣

当選1回の参議院議員有志、テロ特措法で勉強会

以下は石破氏との講演の要旨。

平成13年9月11日、ニューヨークで起こったテロ攻撃で日本人24人を含む2973人の方々が亡くなった。今なお毎年、アフガニスタンで多くの方々がテロの犠牲となっている。テロとの闘いは日本を含む世界全体が連帯して取り組まなければならない国際社会の最重要課題である。このような中、インド洋における米英をはじめとする8カ国の海上阻止活動は、アフガニスタンでのテロリストの出入国、武器の流出入、麻薬売買による資金の流出入の阻止に効果を上げている。自衛隊によるインド洋での各国艦船の給油活動がテロ活動の抑止に大きな役割を果たし、自衛隊の活動は各国から高い評価を得ている。今臨時国会の最大の課題は、海上自衛隊の各国艦船への給油活動の延長問題である。活動継続に対する要望は強い。インド洋が安全な海であることによって一番利益を受けているのは、海上輸送に全貿易量の99％以上を依存している日本である。しかも、ペルシャ湾のホルムズ海峡を日本のタンカーが一日3～4隻も通過している。アフガニスタンのカルザイ大統領は、「海上自衛隊の活動は、作戦行動全体にとって不可欠な役割を担っていると考える。日本の給油支援は、日本のためであり、国際社会のためであり、アフガニスタンのためである。」と述べている。テロ対策特別措置法は、日本が世界から期待されている役割（給油活動）を果たす根拠となっているが、11月1日に期限切れとなるため、政府はインド洋での給油給水のみに限定する新しい法律を国会に提出する。

勉強会で司会をする二ノ湯議員

この一冊

二之湯　智
参議院議員

「恒心なければ恒産なし」の生き方に共鳴

「松永安左エ門の生涯」

小島　直記著
中央公論社

今から約二十年前の正月、「電力の鬼」と呼ばれた松永安左エ門の生涯を描いたこの作品を読んだ時の印象は、さまざまな紆余曲折があったにもかかわらず、最期まで自らの信念を貫いたすごい人物がいたんだという思いでした。

明治八年、長崎県の壱岐に生まれた松永は型破りな生き方で大成功を収めるも、株の暴落ですべてを失って隠遁。二年後に再起して実業家として大成しますが、軍国化が進む時代に官僚たちと大げんかの末、一切の職を辞して再び隠遁生活に入ります。しかし戦後は、吉田内閣の公益事業委員長代理として電力事業の分割民営化に辣腕を振るい、九電力への再編・統合を実現。太田垣士郎や木川田一隆など、その後の電力業界を担う多くの逸材を育てました。そのうえ、喜寿を過ぎてから英国の歴史家トインビーの名著『歴史の研究』を日本国民に読ませたいと考え、莫大な私費と二十年近くの歳月を費やして出版するなど、九十七歳で亡くなるまで〝生涯現役〟を貫きました。

松永翁はその晩年、「恒心なければ恒産なし」という言葉を好みましたが、中国の古典『無恒産者無恒心』(孟子)の教えとは逆のこの言葉について、作家の小島直記氏は以下のように記しています。

「耳庵(松永の雅号)は地位、肩書、名声、財産を欲し守ることではなく、理念、理想の実現にその生涯を注いだ。耳庵が『電力の鬼』という悪評を物ともせずまかり通ったのは、老人の頑固さ、なりふり構わぬ妄執のゆえではなかった。『恒心』がその支えだったのである」

松永への思い入れが非常に深く、本人になりきって書いている点に感動しますが、この一節に共鳴した私は、京都市議会議員に初当選して以来、毎月発行の後援会の機関紙に「恒心」と名付けたコラムを連載しています。

そして、松永安左エ門のように信念をもって行動するとともに、今後の地域社会を担う有為な人材を育てることに全力を尽くしたいと考えています。

指定都市議連の幹部と党首脳との会合
地方議会の課題解決を要望

政令指定都市議員連盟(会長・井上与一郎京都市会議員)の役員は、10月9日、自民党本部で伊吹文明幹事長、谷垣禎一政務会長、中川秀直衆議院議員(元自民党幹事長、政令指定都市議員連盟会長)に会い、政令指定都市の議会、議員が抱える問題について、意見交換をした。中川秀直氏と二ノ湯総務大臣政務官との会談では、地方議員の政務調査費が話題の中心になった。最近政務調査費について、市民オンブズパースンズから訴訟が起こされ、裁判に負ける場合が多く、大阪市では多額の調査費の返還がなされている。大阪府では監査委員によって、不適切な支出について府会議員に返還を求める勧告が出された。政務調査費を地方議員が堂々と政治活動に支出できるように法律を改正して欲しいという意見が出された。そのためには、非常勤の特別公務員となっている議員の身分を「公選職」として位置づけ、議員の日常活動が公的なものであると認めるよう要望が出された。

地方議員の身分が不安定で、しかも議員の活動を支えている政務調査費も市民の批判に厳しく晒されるならば、将来、政治の道を志す若い人がいなくなり、議会の人材確保が難しくなって、金のある人しか政治家になれないと訴えた。さらに、議会の自由度を高め、議会の機能を強化して、地方分権時代にふさわしい議会にするため、法律の規制を緩めるべきではないかと、地方議会側の日頃の持論を展開した。政令指定都市は現在17都市を数え、人口は日本の5分1の約2500万となり、全国自治体の指導的役割を果たしている。従って、指定都市の議会、議員は、地方の時代にふさわしい全国自治体の模範となるように努めなければならない。

中川氏と意見交換する井上会長(中央)

麻生氏、京都でも善戦

麻生氏率いる麻生派は衆参合わせて僅か16人。それが、自民党の他の8派閥を向こうに回して戦いを挑んだ。単純に計算すれば、まったく相手にならず、福田康夫氏の圧勝と思われた自民党総裁選挙。しかし、個性的な性格で、若い人々に圧倒的な人気のある麻生氏は戦術を変え、国民、党員に直接訴える方法をとり、多くの専門家の予想に反して、大いに善戦した。麻生氏は勝負に負けて、選挙に勝ったと言える。派閥が一致結束して、特定の候補を推す建前になっているが、選挙の結果を見る限り、今や、派閥の締め付けは効かなくなってきている。自民党京都府連は党員の声を幅広く総裁選挙に反映させるために、党員投票を実施した。投票総数10197票のうち、福田氏は6314票(62%)、麻生氏は3822票(38%)で、京都府連の地方票は福田氏に2票、麻生氏に1票に振り分けられた。麻生氏の善戦は、自民党員の意識が非常に健全で、一方の候補者に偏らないバランス感覚が働いた結果ではないか。

泡盛カクテルコンテスト
二ノ湯政務官、総務大臣賞を手渡す

泡盛と言えば沖縄で生産される焼酎で、アルコール度は30～40％で非常に強い酒である。沖縄県ではこの泡盛を活かして産業、観光振興に取り組んでいる。泡盛を使ってのカクテルコンテストもその一つで、総務省も地域振興の立場から総務大臣杯を出して後援している。9月24日、二ノ湯総務大臣政務官は東京都内で開かれたカクテルコンテストの表彰式に出席、最優秀賞に輝いた浅岡光世（愛媛県）さんに総務大臣賞を手渡した。

総務大臣賞に輝いた浅岡さんと

朝鮮通信使再現行列
参加者を募集

11月3日、韓国民団京都府本部主催で朝鮮通信使再現行列が実施される。京都日韓文化交流促進協会理事長を務める二ノ湯議員も呼びかけ人の一人として、式典で、「京都所司代」役として、日韓両国の国書交換を行う。衣装を着て行列に参加していただける方はぜひ二ノ湯事務所までご連絡下さい。

身辺雑記

一、国会開会中、宿舎から議員会館まで毎朝バスを利用している。一時は廃止が検討された通勤バス。今まで多い時でも7～8人だったが、最近はほぼ満員の状態である。自民党は大抵私一人で、後は全て民主党の新人議員たちで、肩身が狭い思い。ここにも与野党逆転の影響が出ている。

一、気は優しくて力持ち、相撲力士をそのように思っていた。時津風部屋で起こった序の口力士・時太山の死は、私の相撲に対するイメージを覆してしまった。可愛い弟子に力をつける、かわいがるというよりまるでシゴキ、リンチである。朝青龍、時太山と不祥事が続き、協会に自浄能力がなければ相撲界は衰退の一途を辿ることになる。

一、福田内閣のスタートはおおむね順調である。各報道機関の世論調査も高い支持率を維持している。少子高齢化時代で厳しい財源状況の中、国民にもろ手を挙げて喜んでもらえる奇手、奇策がある訳がない。国民に日本の現状を正直に訴え、時には辛い政策にも、理解を求めるしかない。

一、京都市役所でまたもや職員の不祥事が発覚。服喪休暇を悪用した職員が、過去五年間で43人もいたことが明らかになった。何遍も殺された親や親戚がいたことになる。職場の上司なら、おかしいと思うはずである。なぜ、こんなに頻繁に休暇を繰り返すことが表沙汰にならなかったのか、市役所は本当に伏魔殿である。

一、政府の一員になると随分と窮屈である。先ず、資産報告書には家内の資産も記載しなければならない。結婚して、32年経ったが、家内がどれほど資産を持っているのか全く知らなかった。また、無報酬でしている社団、財団法人の顧問、評議員も好ましくないと役所が言ってきた。少し行き過ぎではないかと思うが、これも規則である。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

新春招福バスツアー
第21回 伊勢神宮初詣

◇旅行日　平成20年1月14日（月・祝）
◇昼食場所　賢島『宝生苑』
◇会　費　8,500円
◇申込締切日　平成19年12月15日（土）
◇申込先　後援会役員または二ノ湯さとし京都事務所まで　TEL(075)315-2228 FAX(075)315-2310

参議院議員　二ノ湯さとし後援会

歩くことは健康の基本

第174回
みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**10月28日**（日）（小雨決行）
・出発時刻：午前9時（時間厳守）
・集合場所：地下鉄松ヶ崎駅1番出口
・コース：松ヶ崎駅→山端→赤山禅院→修学院離宮前→きらら坂道→曼殊院→竹田薬品農場→詩仙堂→銀閣寺前解散
● 今回は一足早く、田園風景の残る東山三十六峰の裾野を歩きます。古寺院も尋ねますので是非ご参加ください。

（当日）090-1956-7460

第173回
みんなで歩こう湯歩会（参加者15名）

雨のなか参加された方々と光明寺門前にて